

子どもひまわり学習塾

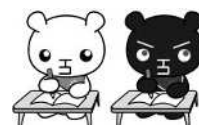
学習教材

6年国語 基礎・基本定着問題



国語
1

6年生の大切・言葉の宝箱



1

□の言葉は、どの教科にかかわる言葉でしょうか。もっともふさわしいものを二つ選び、記号で答えましょう。

ア 割合	イ 要旨	ウ 面積
エ 国会	オ 導線	カ 蒸発
キ 貿易	ク 構成	

〈国語〉 〔イとク〕

〈社会〉 〔エとキ〕

〈算数〉 〔アとウ〕

〈理科〉 〔オとカ〕

2

□の言葉は人物について説明するときや、物事の感想を伝えるときに使う言葉を集めています。テーマになかまわけをし、記号を書きましょう。

ア 晴れやか	イ 誠実	ウ あいまい
エ 未熟	オ 理想的	カ 味気ない

〈どんな人物かを表す言葉〉 〔イとエ〕

〈どんな物や事がらかを表す言葉〉 〔ウとオ〕

〈感情を表す言葉〉 〔アとカ〕

組	番	名前	かかった時間	とけた数 /7
---	---	----	--------	------------

国語
2

漢字の形と音・意味



1 次の文の()に合う言葉を から選んで書きましよう。

「学校」「効果」の 線は、「コウ」と読み、「交」の部分が共通しています。

このように同じ部分をもつ漢字は、その

音

も共通することがあります。

また、「大腸」「大脳」の 線部の「月」は、同じ部分をもち体に関係のある意味を表します。

意味

がつながることがあります。

意味・音・言葉

2 次の□に当てはまる漢字を、それぞれ から選び、()に書きましよう。

一 カン
水道□がはれつする。()
警察□になる。()

官 管 館

図書□で調べものをする。()

二 ショウ
父母は、□和生まれだ。()
居間の□明をつける。()
友達を家に□待する。()

照 招 昭

招 照 昭

3 次の漢字の中で「人」につながりのあることを表す部分をもつものを二つ選んで○をつけましよう。

ア () 機 イ () 弱

ウ () 他 エ () 仲

オ () 物

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語
3

季節の言葉 (春)



1 次の文に合う言葉を から選び、その番号を書きましよう。

日本では、こよみの上で季節を二十四に区切っていました。これを (2) といいます。また、(4) から (5) の前日までを「春」といいます。

- | | |
|------|---------|
| 1 立秋 | 2 二十四節気 |
| 3 立冬 | 4 立春 |
| | 5 立夏 |

2 次の俳句の季語を書きぬき、その季節を答えましよう。
【それぞれ完答】

○ 立春や月の兔うさぎは耳たてて

ほしの つばき
星野 椿

季語 (立春) 季節 (春)

○ 清明かひや街道の松高く立つ

かつらの のぶこ
桂 信子

季語 (清明) 季節 (春)

3 次の言葉は、冬から春へと向かっていくころの季節の様子を表しています。説明の文を選んで () に記号を書きましよう。

- 一 清明せいめい (イ) 二 春分しゅんぶん (ウ)
- 三 雨水うすい (エ) 四 穀雨こくう (ア)
- 五 啓蟄けいちつ (オ)

ア 四月二十日ごろ。いろいろな穀物をうるおし、芽を出させる春の雨という意味。

イ 四月五日ごろ。氣候がしだいに温暖になり、すがすがしく明るい空気に満ちあふれるころ。

ウ 三月二十一日ごろ。昼と夜の長さがほぼ等しくなる。春のひがんの中日である。

エ 二月十九日ごろ。ふる雪が雨に変わり、深く積もった雪も解け始める。

オ 三月六日ごろ。地中で冬眠していた虫がはい出てくるころという意味

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語
4

話し言葉と書き言葉



1

話し言葉と書き言葉の説明として合う言葉を
からすべて選び、 に記号を書きま
しょう。(完答)

① 話し言葉(音声で表す言葉)

アイオ

② 書き言葉(文字で表す言葉)

ウエ

ア その場に相手がいるので、表現したとき、まちがいをす
ぐに直せる。
イ 実物を示しながら、こそあど言葉で表すことができる。
ウ すぐに消えずに残るので、見直してから伝えるよう
にする。
エ ふうふう共通語で表現し、語順や構成を整える。
オ 間の取り方などで、自分の気持ちを表すことができる。

2

次の内容を、全校に放送します。―線の部分を適
切な表現に直して、 に書きましよう。

図書委員会から、お知らせします。
来週の木曜日の昼休みに、絵本の読み聞かせの会を
するんだ。きょうみのある人は、ぜひ図書室に来てね。

① するんだ

します

② 来てね

来てください

3

次の内容を、手紙で地域の人に伝えます。―線の部分
を適切な表現に直して、 に書きましよう。

来月、体育館で、六年生が楽器の演奏会を行う。
地域の方たちがよく知っている曲をいっばい
演奏する。聞きたい人は、事前に学校に申し込み
が必要だ。

① 行う

行います

② いっばい

たくさん

③ 演奏する

演奏します

④ 聞きたい人

聞かれたい方(お聞きになりたい方)

⑤ 必要だ

必要です

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				9

国語
5

文の組み立て



①

文の中の主語と述語の関係を見つけ、例にならって、それぞれの文を書き直しましょう。(完答)

(例)

ぼくが 植えた 木が 育った。

ぼくが 木を植えた。

その木が 育った。

①

私が かいだ 絵が 入賞した。

私が 絵をかいだ。

その絵が 入選した。

②

兄が くれた ペンは とても 書きやすい。

兄が ペンをくれた。

そのペンは とても書きやすい。

③

立派な 競技場が 完成し、人々は 喜んだ。

立派な競技場が 完成した。

人々は その(競技場の) 完成を喜んだ。

④

まぼろしの 料理研究家が 作った シチューを 食べた 森田さんが 取材に 応じた。

まぼろしの料理研究家が シチューを 作った。

そのシチューを食べた森田さんが 取材に応じた。

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／ 4

国語
6

季節の言葉 (夏)



1 次の文に合う言葉を から選んで書きましよう。

こよみの上では、(**立夏**) 「五月六日ごろ」から (**立秋**) 「八月八日ごろ」の前日までを、(**夏**) といいます。

秋 ・ 夏
立秋 ・ 立夏

2 次の俳句の季語を書きぬき、その季節を答えましよう。(それぞれ完答)

1 小満のみるみる涙湧く子かな

季語 (**小満**) 季節 (**夏**)
山西 雅子

2 芒種はや人の肌さす山の草

季語 (**芒種**) 季節 (**夏**)
鷹羽 狩行

3 次の言葉は、夏から秋へと向かっていくころの季節の様子を表しています。説明の文を選んで () に記号を書きましよう。

- ① 立夏 (**ア**)
- ② 小満 (**エ**)
- ③ 芒種 (**オ**)
- ④ 夏至 (**イ**)
- ⑤ 小暑 (**ウ**)

ア 五月六日ごろ。こよみの上で夏が始まる日。

イ 六月二十一日ごろ。一年の中で昼が最も長く夜が短い。昔のこよみでは、夏の真ん中とされた日。

ウ 七月七日ごろ。この日から暑中(夏の暑さがさかな時期)に入り、暑さが増して日。つゆが終わりに近づくころ。

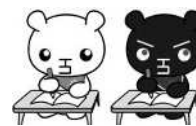
エ 五月二十一日ごろ。立夏から十五日目に当たる日。陽気がさかんとなり、草木が成長して満ちてくるという意味。

オ 六月六日ごろ。「芒(のぎ)」とは、いねや麦などの実のからにある、はりの形をした毛のことで、芒のある穀物の種をまく時期のころ。

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10

国語
7

漢字のおさらい (1)



1

次の文中の——線部を漢字で書きましよう。
送りがなが必要な場合は送りがなも書きましよう。

- ① 雨がふるるので、かさを持っていく。
- ② ちいきの特産品を展示する。
- ③ 冷静な判断で、物事にたいしする。
- ④ 晴天なので、洗たく物をほす。
- ⑤ 目的にそつて、意見を述べる。
- ⑥ 犬は身近なそんざいの動物だ。
- ⑦ 試合開始のじこくになる。
- ⑧ かいまく当初から、チームの好調が続く。
- ⑨ むずかしい問題を解く。
- ⑩ ぎもんに思ったことを調べる。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
疑問	難しい	開幕	時刻	存在	浴って	干す	対処	地域	降る

組	番 名前	かかった時間	とけた数 /10
---	------	--------	-------------

国語
8

熟語の成り立ち



1 次の熟語の成り立ちを から選んで記号を書きましょう。

① 登山

エ

② 天地

イ

③ 言語

ア

④ 最高

ウ

⑤ 再開

ウ

ア 似た意味の漢字の組み合わせ
 イ 意味が対になる漢字の組み合わせ
 ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ
 エ 「―」を「―」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ

2 次の三字の熟語の成り立ちを から選んで、記号を書きましょう。

① 衣食住

ウ

② 低気圧

ア

③ 冷蔵庫

イ

ア 二字の語の頭に一字を加えた熟語
 イ 二字の語の後ろに一字を加えた熟語
 ウ 一字の語の集まりから成る熟語

3 次の に「無・未」のどれかの漢字を選んで書きましょう。

①

未

解決

②

無

責任

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/10

国語
9

言葉の変化



1 同じものを指すときに、世代によってちがう言葉で表されるものがあります。次の言葉と同じものを指す言葉を [] に書きましよう。

⑥ スーツ	⑤ キッチン	④ スプーン	③ えりまき	② 帳面	① しきふ
背広	台所	さじ	マフラー	ノート	シーツ

2 昔と今とで使い方にちがいが見られる言葉があります。次の言葉の使い方としてふさわしいものを [] から選んで [] に記号を書きましよう。

ア 不調和で面白くない イ 程度や勢いがひどく激しい ウ かわいいそうである エ 喜び、楽しみ、悲しみなどを 感じ、しみじみと感動する	④ (今) すさまじい	[]	イ
	③ (昔) すさまじい	[]	ア
	② (今) あわれだ	[]	ウ
	① (昔) あはれなり	[]	エ

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/ 10

国語
10

季節の言葉 (秋)



1 次の文の()に合う言葉を()から選んで書きましよう。

こよみの上では、() **立秋** ()八月
 七日ごろから、() **立冬** ()十一月
 月七日ごろの「前日までを() **秋** ()
 といいます。

秋 ・ 立冬
 立秋 ・ 立夏

2 次の俳句の季語に―線を引きましよう。

① ひとつづつ山暮れてゆく白露はくろかな

まゆずみ 執しゅう

② 秋たつや川瀬せにまじる風の音

いいた 飯田 だこつ 蛇笏

3 次の言葉は、秋から冬へと向かっていくころの季節の様子を表しています。説明の文を選んで()に記号を書きましよう。

① 寒露かんろ(ウ) ② 処暑しよしよ(ア)
 ③ 秋分しゅうぶん(イ) ④ 霜降そうこう(エ)

ア 八月二十三日ごろ。立秋から十五日目に当たり、このころから少しずつ涼しくなり始める。暑さがやむという意味。

イ 九月二十三日ごろ。春分と同じく、昼と夜の長さがほぼ等しくなる。この日をさかいに夜の時間が長くなっていく。秋のひがんの中日である。

ウ 十月八日ごろ。木々の葉も、紅葉したり、落葉したりするようになる。冷気に当たって、つゆもこおりそうになるころ。

エ 十月二十三日ごろ。しもが降りるころ。虫の音が減り、寒さがまして、冬のとう来が近づいてきたことを感じられるようになるころ。

オ 九月八日ごろ。草木の葉につゆが結ぶころ。だんだん秋らしい感じがましてくる。

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/9

国語
11

漢字のおさらい (2)



1 次の中の—線部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- ① ざつしを買って読む。
- ② 話の中でじゆくごを正しく使う。
- ③ 有名なおんせんをおとずれる。
- ④ 店はりんじきゆうぎようした。
- ⑤ かばんのすんぼうを測る。
- ⑥ わかものは希望に満ちていた。
- ⑦ けつろんを先に述べる。
- ⑧ ゆうせん順位を付けて取り組む。
- ⑨ 子供せんようの道場で練習する。
- ⑩ こうちやを飲む。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
紅茶	専用	優先	結論	若者	寸法	臨時休業	温泉	熟語	雑誌

組	番 名前	かかった時間	とけた数
			/10

国語
12

季節の言葉 (冬)



1 次の文の()に合う言葉を から選んで書きましょう。

こよみの上では、(**立冬**) 「十一月七日ごろ」から、(**立春**) 「二月四日ごろ」の前日までを (**冬**) といいます。

冬 ・ 立冬
立秋 ・ 立春

2 次の俳句の季語に―線を引きましょう。

① グラタンの熱しと食ぶる冬**至**かな

あわの 阿波野
せいほ 青畝

② 寒に入る夜や星空きらびやか

はせがわ 長谷川
そせい 素逝

3 次の言葉は、秋から冬と向かっていくころの季節の様子を表しています。説明の文を選んで()に記号を書きましょう。

- ① 小雪(イ) しょうせつ
- ② 大雪(ウ) たいせつ
- ③ 冬至(エ) とうじ
- ④ 大寒(オ) だいかん

ア 十一月七日ごろ。こよみの上で、冬が始まる日。まだ秋の気配は残っているが、しだいに冬に近づいていくころ。

イ 十一月二十二日ごろ。寒さはまだ深まっておらず、雪もそれほど多くはないころ。冬の気配は進んでくる。

ウ 十二月七日ごろ。寒気が増し、雪も激しくなってきたころ。この日を過ぎると、いっそう冬らしくなる。

エ 十二月二十二日ごろ。一年の中で、昼の時間が最も短く、夜が最も長い日。かぼちゃなど、特定の物を食べる習わしがある。

オ 一月二十日ごろ。一年の中で最も寒い時期。「寒」が明けて立春になると、春が近づいてくる。

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/9

国語
13

仮名の由来



① 日本で使う文字についてまとめました。()に当てはまる言葉を [] から選んで書きましよう。

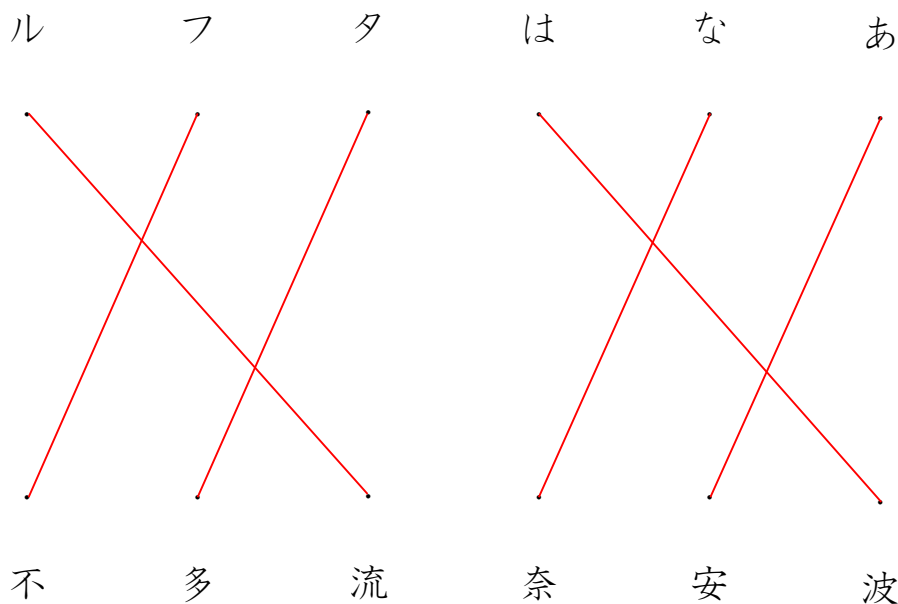
① 仮名がなかった時代の「はる(春) — 波留^{ハル}」のような使い方の漢字を [] **万葉仮名** [] という。

② [] **平安** [] 時代に、万葉仮名をくずして書くところから [] **平仮名** [] が、

万葉仮名の形の一部を取って書くところから、 [] **片仮名** [] が生まれた。

平安	万葉仮名	発音	平仮名
	片仮名		ローマ字

② 平仮名と片仮名の起こりに合う漢字を線で結びましよう。



組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/10

国語
14

漢字を正しく使えるように



1 漢字の使い方が正しい方に、○を付けましょう。

① 墓前に花を供え、まわりをそうじする。

- () () 回り
(○) () 周り

② 早起きにつとめる。

- () () 勤める
() (○) 努める
() () 務める

③ 景色をうつす。

- () () 移す
() (○) 写す

④ 夜が明けて、目がさめる。

- () (○) 覚める
() () 冷める

⑤ 明日の集合時刻は、はやい。

- () (○) 早い
() () 速い

⑥ 運動場で転び、ズボンがやぶれる。

- () () 敗れる
() (○) 破れる

⑦ 駅前に、大きなビルがたくさんたつ。

- () () 立つ
() (○) 建つ

⑧ 試合再かいのアナウンスに観衆は喜んだ。

- () () 再会
() (○) 再開

⑨ 今年の夏はあつい。

- () () 熱い
() () 厚い
() (○) 暑い

⑩ しょうすうの計算をする。

- () () 少数
(○) () 小数

組	番	名前	かかった時間	とけた数 /10
---	---	----	--------	-------------

国語
15

漢字のまとめ



① 線の中で、同じ読み方をするのはどれですか。記号を選んで に書きましょう。

① 週刊誌を読む。

ア 一時間前に、出発した。

イ 間を空けて音読する。

ウ 建物の間に立つ。

② 相手のチームが先制点を取った。

ア 新しい考えを生み出す。

イ 一年生と運動場で遊ぶ。

ウ 生卵を料理に使う。

③ コップに熱湯を注ぐ。

ア すぐれた頭脳をもつロボットが作られた。

イ 困った問題に、頭を痛める。

ウ 遠足で先頭を歩く。

② 線部の漢字の使い方が正しい文はどれですか。記号を選んで に書きましょう。

ア 最終ランナーを努める。

イ 新しい本の宣伝に努める。

ウ 株式会社を努める。

③ 次の一部の中で送りながまちがっているものを選び、 に正しく書き直しましょう。

① 輸入量が増える。

お地藏様を拝がむ。

海底の調査を試みる。

② すばらしい業績を残す。

歯科医になることを志ざす。

小麦の産地を訪ねる。

④ 線のみらがなに当てはまる漢字を選び、 に記号を書きましょう。

① 西洋の学問をおさめる。

ア 修 イ 収 ウ 納

② あつい夏を過ごす。

ア 厚 イ 熱 ウ 暑

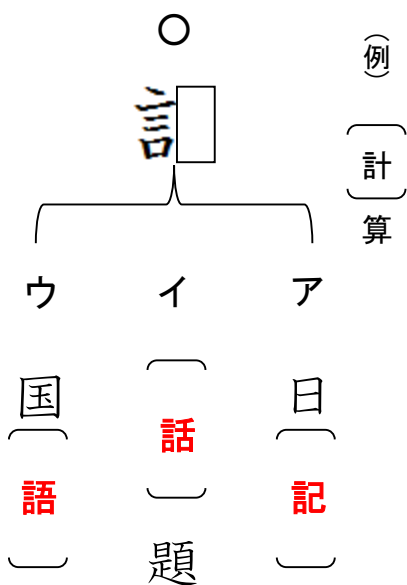
③ 球技大会の参加対しよ者を知らせる。

ア 照 イ 象 ウ 証

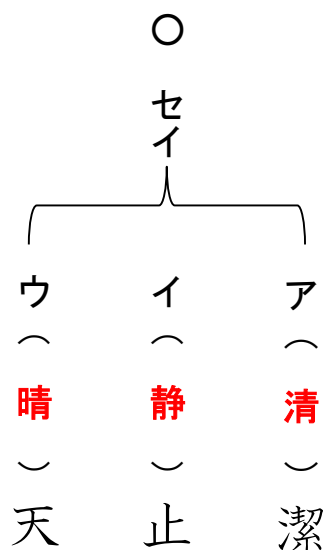
組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/9



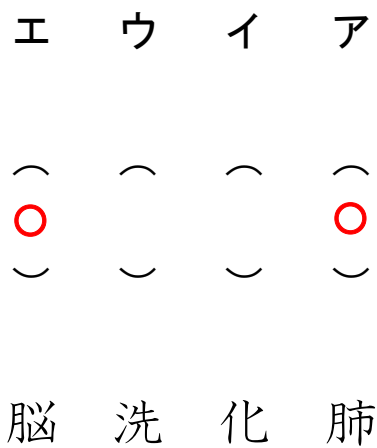
診断問題①



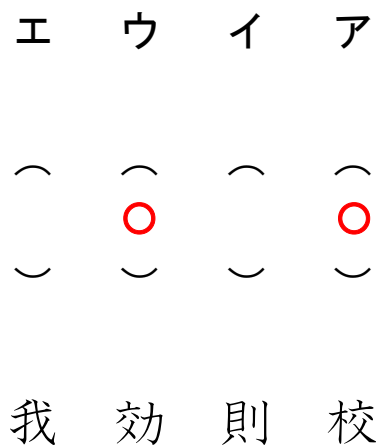
2 次の「」に、「ごんべん」が同じ部分で、「表現」や「言葉」などの意味を表す漢字を書きましょう。



1 次の（ ）に当てはまる、同じ部分で同じ音をもつ漢字を書きましょう。



4 次の漢字の中で「体」につながるののあることを表す部分をもつものを二つ選んで、○をつけましょう。



3 次の漢字の中で、同じ部分で同じ音をもつものを二つ選んで○をつけましょう。

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/10



診断問題②



1

次の内容を、手紙で地域の人に伝えます。—線の部分を適切な表現に直して、に書きましよう。

来月、体育館で、六年生が平和集会を①行^うう。修学旅行で長崎県へ行き、②いっ^{ぱい}ぱい調べてきたことを中心に③発^表表する。④参^加加したい。⑤人^たたちは、事前に学校に申し込みが⑥必^要要だ。

① 行^う

② いっ^{ぱい}

③ 発^表表する

④ 参^加加したい

⑤ 人^たち

⑥ 必^要要だ

行 ^{います}	た ^く さ ^ん	発 ^表 し ^ま す	参 ^加 さ ^れ たい	方 ^々	必 ^要 で ^す
------------------	-------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------	-------------------------------

2

文の中の主語と述語の関係を見つけ、例にならって、それぞれの文を書き直ましよう。

(例) 私が 育てた 花が 咲いた。

私^が 花^を 育^てた。 → 花^が 咲^いた。

①

兄^が くれた ペンは とても 書^きや^すい。

兄^が ペ^んを^くれ^た。

そのペ^んは とても 書^きや^すい。

②

立^派な 競^技場^が 完^成し、人^々は 喜^んだ。

立^派な 競^技場^が 完^成し^た。

人^々は その(競^技場^の) 完^成を 喜^んだ。

組	番 名前	かかった時間	とけた数 /10
---	------	--------	-------------



診断問題③



1 次の熟語の成り立ちを から選んで、記号を書きましよう。

- ① 言語 (ウ)
- ② 就職 (エ)
- ③ 再開 (イ)
- ④ 売買 (ア)

ア 意味が対つひになる漢字の組み合わせ
 イ 上の漢字が下の漢字を修飾しゅうしよくする組み合わせ
 ウ 似た意味の漢字の組み合わせ
 エ 「——」を「——」に当たる意味の漢字が下に
 来る組み合わせ

2 次の三字の熟語の成り立ちを から選んで、記号を書きましよう。

- ① 裁判所 (ア)
- ② 衣食住 (ウ)
- ③ 市役所 (イ)

ア 二字の語の後ろに一字を加えた熟語
 イ 二字の語の頭に一字を加えた熟語
 ウ 一字の語の集まりから成る熟語

3 次の□に「無・非・不」のどれかの漢字を選んで、書きましよう。

- ① 公開
- ② 関心
- ③ 自然

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				／10



診断問題④



1

同じものを指すときに、世代によってちがう言葉で表されるものがあります。次の言葉と同じものを指す言葉を に書きましょう。

⑤ 台所	④ さじ	③ マフラー	② 帳面	① しきもの
キッチン	スプーン	えりまき	ノート	シート

2

次の文中の—線部のひらがなを、漢字でていねいに の中に書きましょう。

⑤ 存在	③ 結論	① 雑誌	⑤ ねこは身近なそんざいの動物だ。
	④ 専用	② 地域	④ 大人せんようの道場で練習する。
			③ けつろんを先に述べる。
			② ちいきの特産品を展示する。
			① ぎっしを買って読む。

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/10



診断問題⑤



① 次の文の—線部には、()の中のどちらの漢字を使
うとよいでしょうか。適切な言葉を()から選び、
に書きましよう。

① おう(追う・負う)

ア 逃げた犬をおう。

追う

イ 大きな責任をおう。

負う

② はかる(量る・計る・測る)

ア 荷物の重さをはかる。

量る

イ へいの高さをはかる。

測る

ウ 移動にかかる時間をはかる。

計る

② 次の—部の中で送りながまちがっているものを選び、
に正しく書き直ましよう。

① 輸入量が変わった。

お地藏様を拝んだ。
海底の調査を試みた。

変わった

② すばらしい業績を残こす。

歯科医になることを志す。
小麦の産地を訪ねる。

残す

③ —線のひらがなに当てはまる漢字を選び、
に記号
を書きましよう。

① 西洋の学問をおさめる。

ア 納 イ 収 ウ 修

ウ

② あつい本をぜんぶ読み終わった。

ア 厚 イ 熱 ウ 暑

ア

③ 球技大会の参加対し—者を知らせる。

ア 照 イ 象 ウ 証

イ

組	番	名前	かかった時間	とけた数
				/10